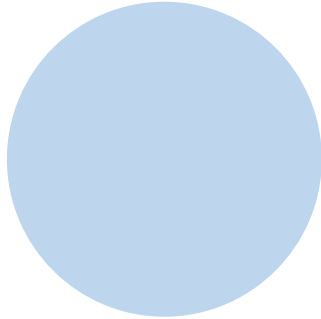
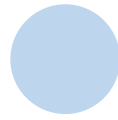


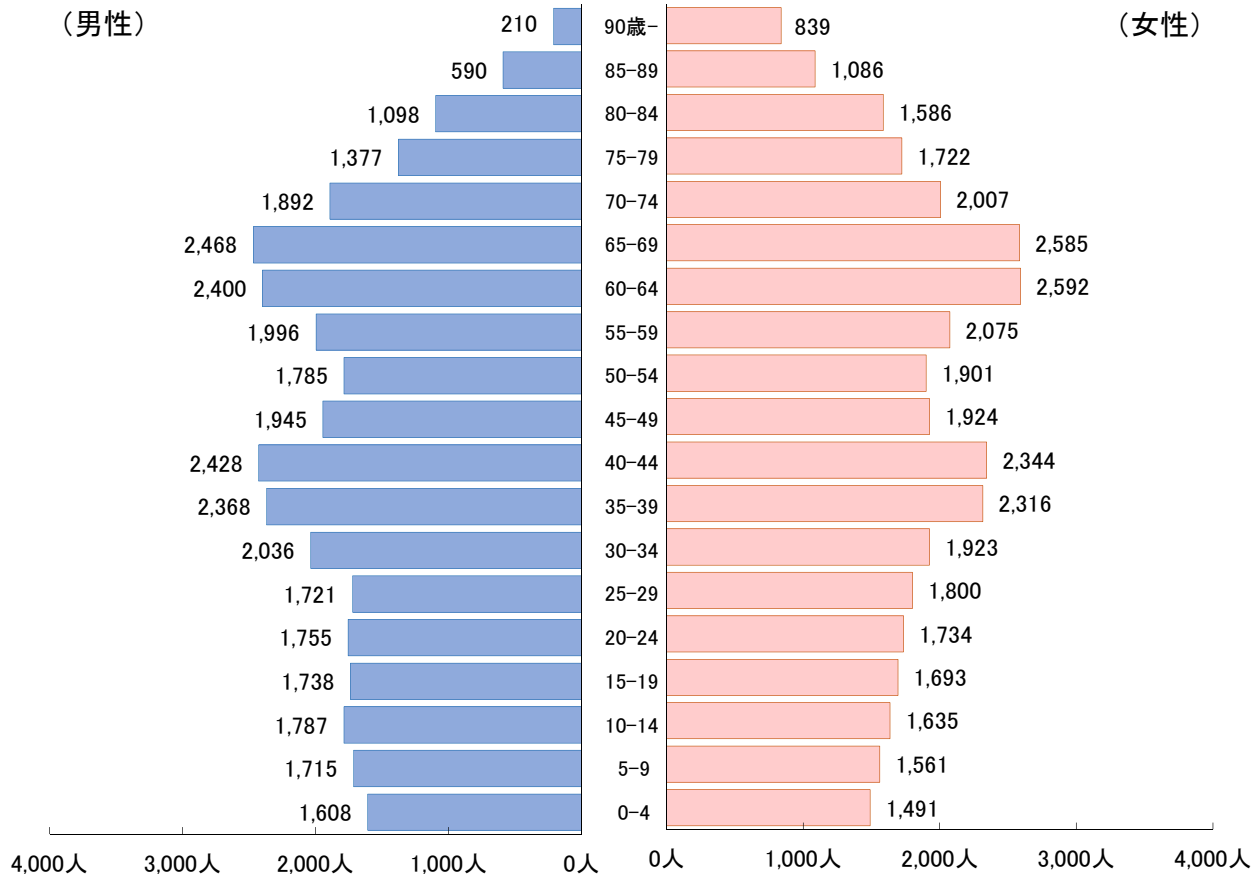


## 第2章 高齢者をめぐる総社市の現状



# 1. 人口と高齢化の現状

図表 8 人口ピラミッド

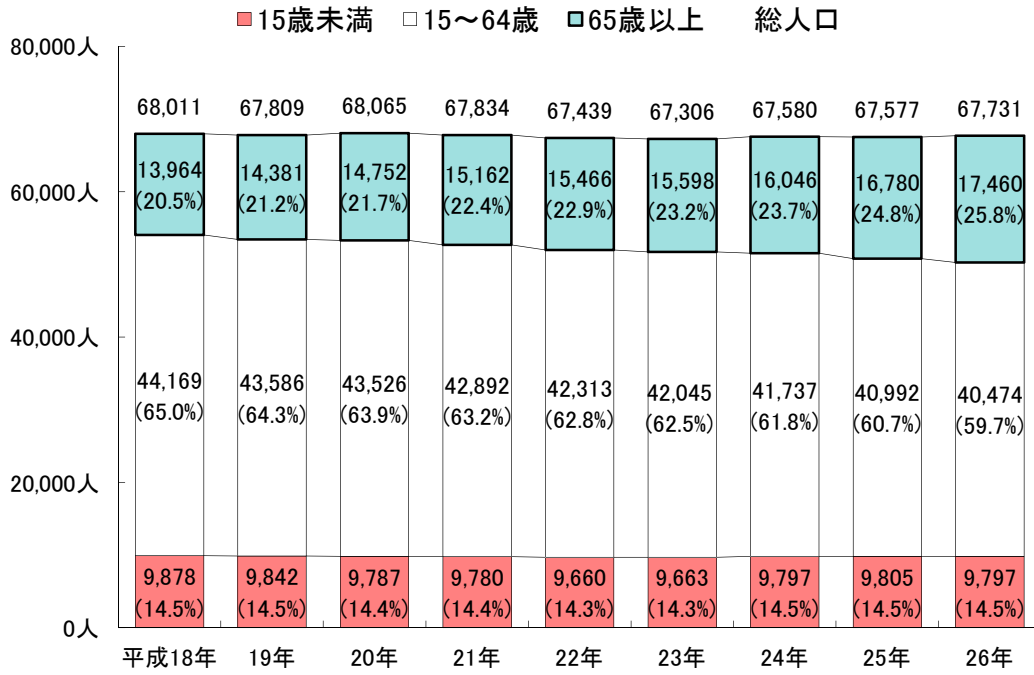


資料：住民基本台帳

平成 26 年 3 月 31 日現在

- 本市の平成 26 年 3 月 31 日現在の総人口は、67,731 人であり、男性 32,917 人、女性 34,814 人となっています。このうち高齢者の人口は 17,460 人で、総人口に占める高齢者の割合（高齢化率）は 25.8%となっています。高齢化率は男性（23.2%）よりも女性（28.2%）の方が高くなっています。
- 比較的人口の多い階層である 60 歳代前半が順次高齢者の仲間入りをしていくため、今後高齢者人口の増加は続くことが推測されます。

図表 9 年齢3区分人口の推移

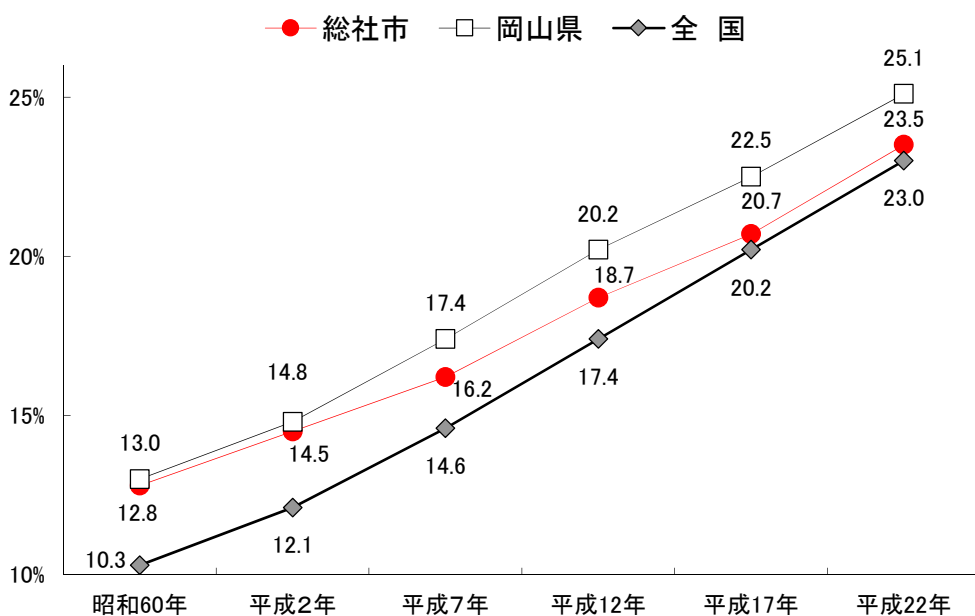


資料：住民基本台帳

各年3月31日現在

- 本市の総人口はほぼ横ばいで推移していますが、平成26年3月31日現在では67,731人となっており、平成25年（67,577人）からは、僅かながら増加しています。

図表 10 高齢化率の推移

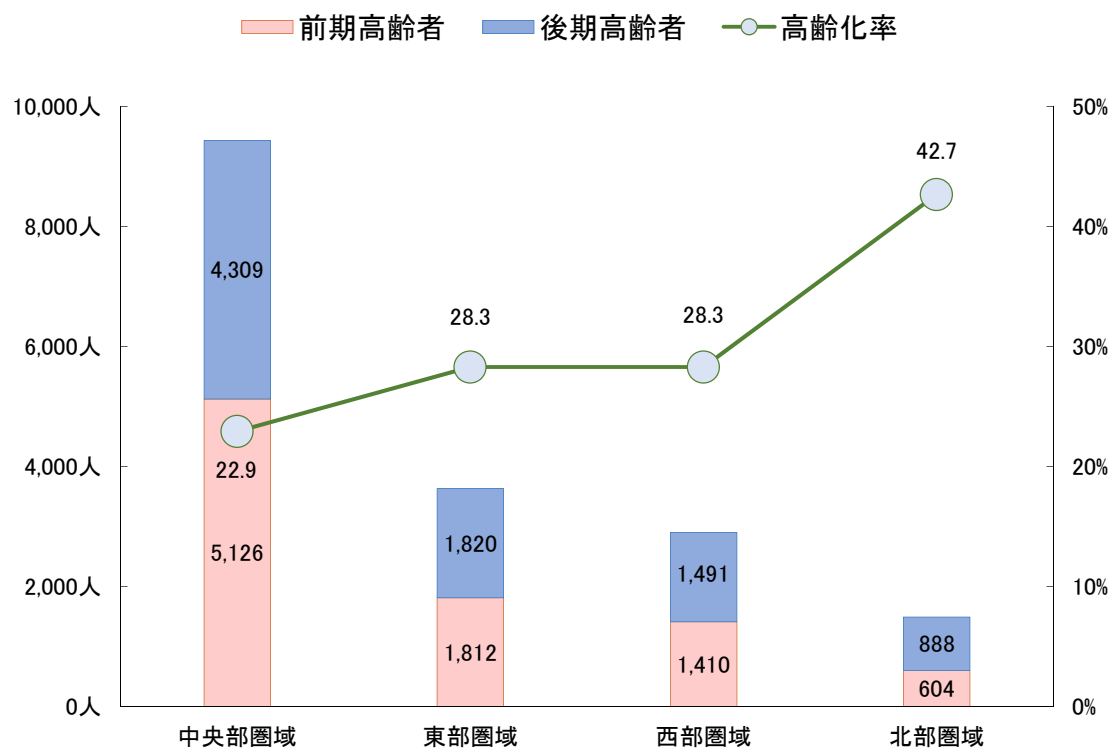


資料：国勢調査

各年 10 月 1 日現在

- 総人口は横ばいで推移していますが、65 歳以上の高齢者人口は増加傾向にあり、総人口に占める高齢者人口の割合（高齢化率）は県平均よりは低いものの、国平均を僅かに上回る水準で推移しています。ただし、国、県と比べるとその推移は若干緩やかになっています。

図表 11 地区別高齢者数と高齢化率



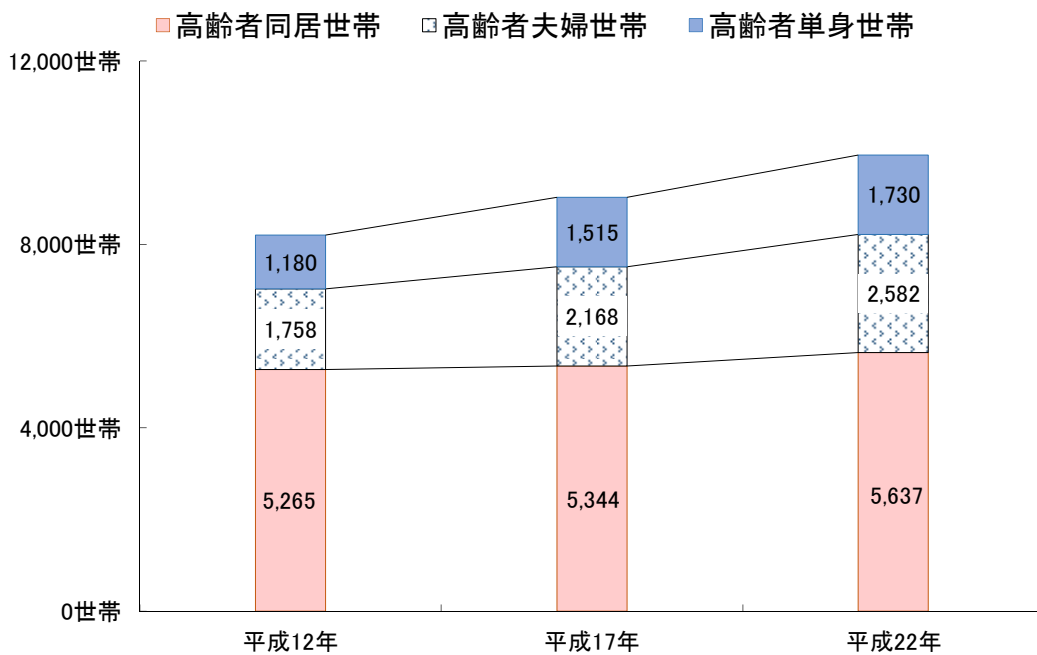
資料：住民基本台帳

平成 26 年 3 月 31 日現在

- 地区別にみると、高齢化率が最も低い中央部圏域（22.9%）と最も高い北部圏域（42.7%）では、19.8 ポイントの差があることが分かります。北部圏域は高齢者に占める後期高齢者の割合が 59.5%となっており、高齢者のほぼ 6 割が 75 歳以上となっています。

## 2. 高齢者のいる世帯の状況

図表 12 高齢者のいる世帯数の推移

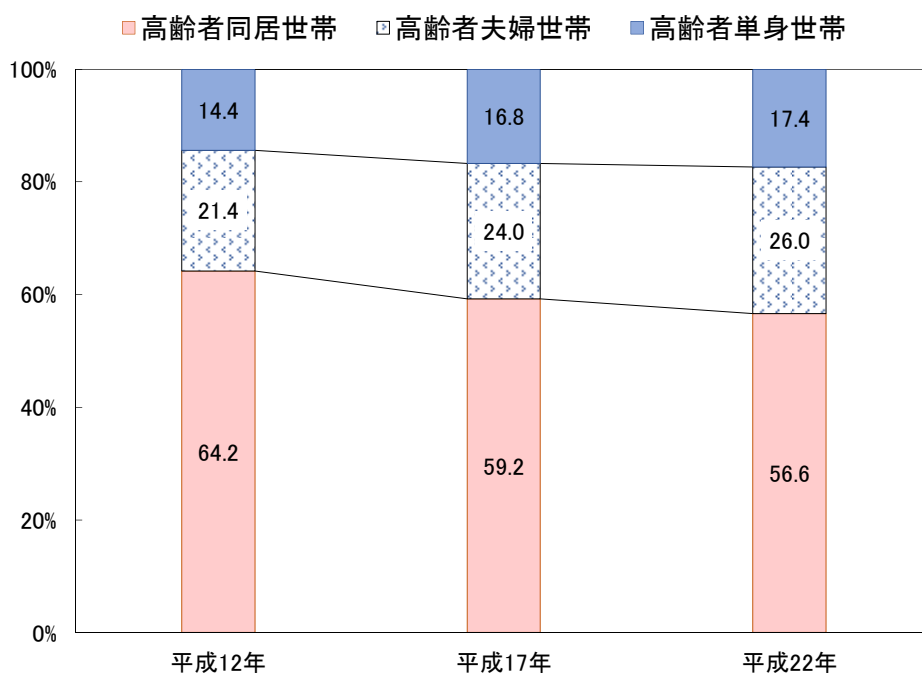


資料：国勢調査

各年 10 月 1 日現在

- 高齢者のいる世帯は急激に増加しています。平成 22 年では、高齢者のいる世帯は 9,949 世帯となっており、本市における総世帯数 23,410 世帯の 42.5%を占めていることとなります。特に高齢者単身世帯、高齢者夫婦世帯の伸びが著しく、平成 12 年(2,938 世帯)から 22 年(4,312 世帯)までの 10 年間で約 1.5 倍になっています。

図表 13 高齢者のいる世帯の内訳推移



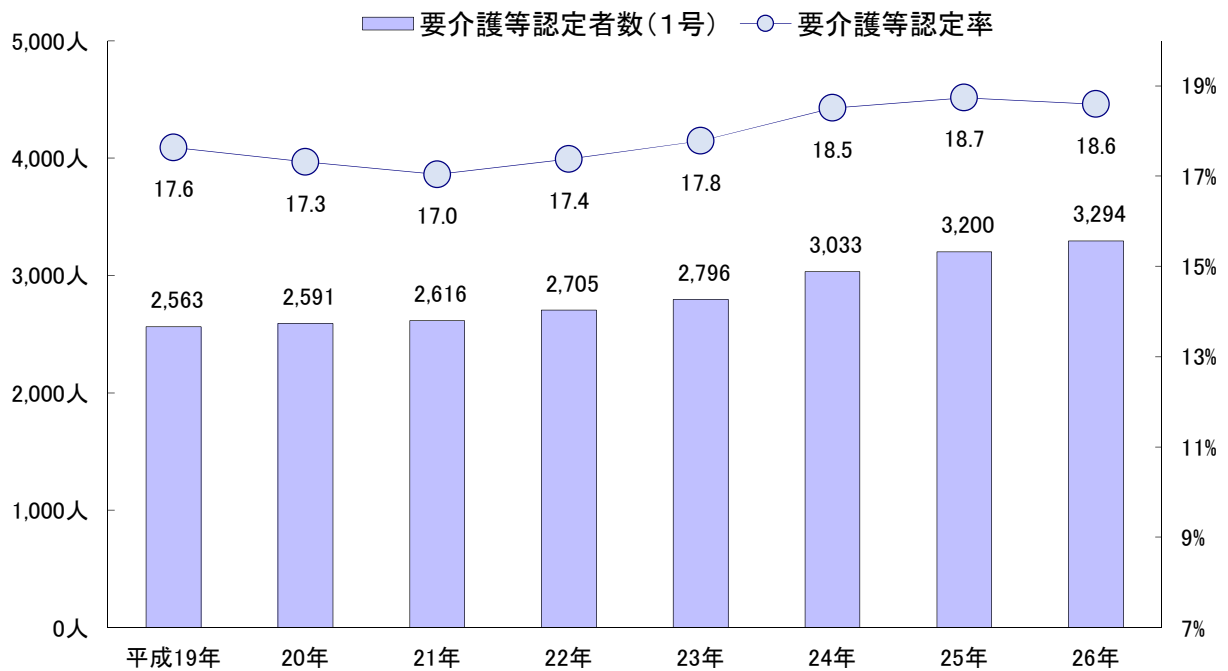
資料：国勢調査

各年 10 月 1 日現在

- 平成 22 年では、高齢者単身世帯と高齢者夫婦世帯を合わせると、高齢者のいる世帯全体の 43.4% に相当します。

### 3. 要介護等認定者の状況

図表 14 要介護等認定者数及び認定率の推移



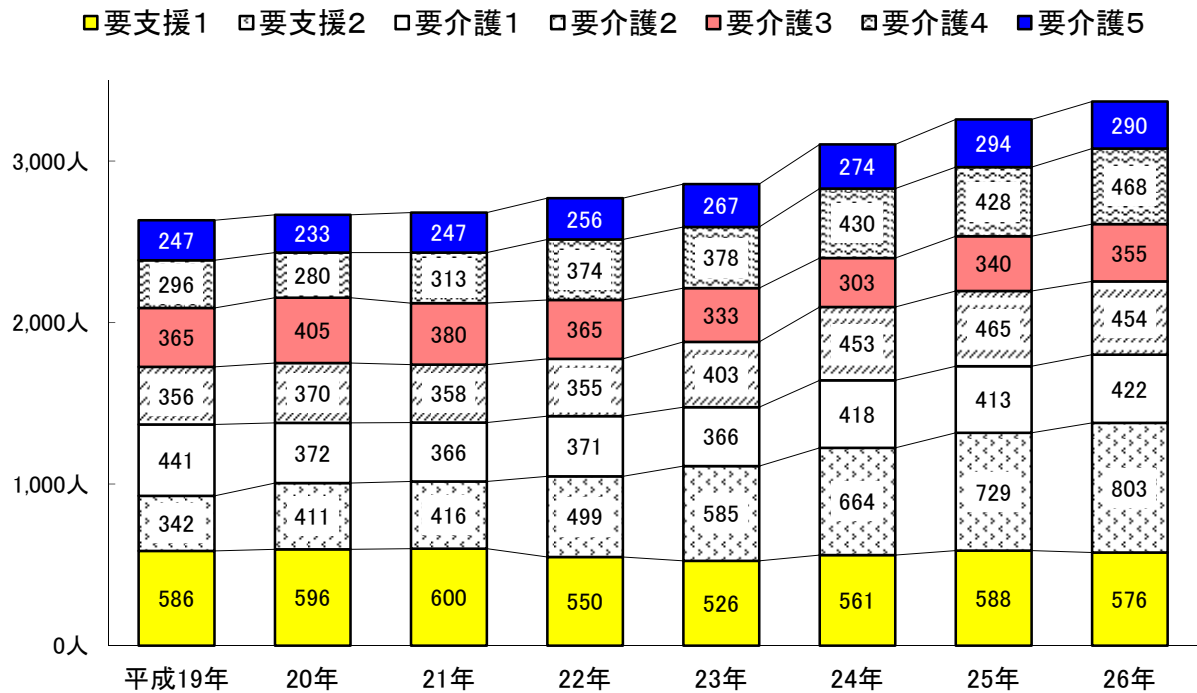
資料：介護保険事業報告

各年9月30日現在

- 要介護等認定者数はおおむね増加傾向にあります。
- 要介護等認定率（被保険者のうち要介護等認定者の割合）は平成21年を起点にして上昇傾向にあり、平成26年では18.6%となっています。



図表 15 要介護度別認定者数の推移



資料：介護保険事業報告

各年 9 月 30 日現在

- 要介護度別認定者数を見ると、「要支援1」「要支援2」「要介護1」の軽度者の割合が高く（平成26年は53.5%）、軽度層が認定者の半数以上を占めています。

